

2026年9月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月28日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マクアケ

コード番号 4479 URL <https://www.makuake.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 中山 亮太郎

問合せ先責任者（役職名） コーポレートリレーションズ部（氏名） 金 延賢 TEL 03-6328-4038
部長

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有

（百万円未満切捨て）

1. 2026年9月期第3四半期の業績（2025年10月1日～2026年6月30日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年9月期第3四半期	4,392	31.1	844	101.0	848	100.2	683	77.3
2025年9月期第3四半期	3,349	22.6	420	—	423	—	385	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年9月期第3四半期	53.64	53.49
2025年9月期第3四半期	30.25	30.18

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年9月期第3四半期	9,037	6,100	67.1
2025年9月期	7,449	5,416	72.2

（参考）自己資本 2026年9月期第3四半期 6,061百万円 2025年9月期 5,377百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年9月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年9月期	—	0.00	—	—	—
2026年9月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年9月期の業績予想（2025年10月1日～2026年9月30日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	18.0	670 ～800	49.8 ～78.9	670 ～800	41.0 ～68.3	590 ～700	44.9 ～71.9	46.28 ～54.91

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2026年9月期3Q	12,748,700株	2025年9月期	12,748,700株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2026年9月期3Q	227株	2025年9月期	227株
------------	------	----------	------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2026年9月期3Q	12,748,473株	2025年9月期3Q	12,746,903株
------------	-------------	------------	-------------

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、上記業績予想に関する事項は、【添付資料】3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(第3四半期累計期間)	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等)	6
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものです。

当社は、「生まれるべきものが生まれ 広がるべきものが広がり 残るべきものが残る世界の実現」というビジョンのもと、「世界をつなぎ、アタラシイを創る」をミッションに掲げ、世にない新しいものを提供するプロジェクト実行者（事業者）と新しいものや体験を作り手の想いや背景を知った上で応援の気持ちを込めて購入するプロジェクトサポーター（生活者）をつなぐ応援購入サービスMakuakeを中心に事業を展開しています。

また、付随サービスとして

- ・ Makuakeにおける応援購入金額の拡大をサポートする広告配信代行
- ・ プロジェクトサポーターが安心して応援購入できる場や機会を提供する安心システム制度
- ・ Makuakeでの新商品デビュー後プロジェクトページをそのまま利用し、継続的に商品を販売するMakuake STORE
- ・ 楽天市場・Yahoo!ショッピング・TikTok Shopといった大手ECモールへの出店・販売・プロモーション・物流を代行し、プロジェクト実行者の持続的な事業成長を支援するMakuake STORE for ECモール
- ・ 生活者の声とデータを活用した事業者向けリサーチサービスMakuakeインサイト
- ・ 全国各地の様々な業態のパートナー企業と連携しMakuake発の商品をリアル店舗で展示・販売するMakuake SHOP

等を提供しています。

当第3四半期累計期間（2025年10月1日～2026年6月30日）におけるわが国経済は、雇用や所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調にあるものの、継続的な物価上昇に加え、米国の通商政策変動や中東情勢の変化に起因する不透明感等が家計や企業活動に及ぼす下振れリスクが依然として残っています。

当社を取り巻く市場環境としては、物価高による生活者の節約志向が根強い一方、画一的なマス商品ではなく、独自性やストーリーのある商品を厳選して購入する「消費の二極化」が進行しています。また、国際情勢の変化によりサプライチェーンの再構築が求められる中、確実な事業成長を図るために量産前のテストマーケティングや具体的な需要予測の手段を求める事業者の需要は、底堅く推移しています。

このような状況のもと、当社は応援購入サービスMakuakeにおいて、家電やガジェットジャンルを中心に優良なプロジェクト実行者の獲得に注力しています。新規開拓においては、従来からのオンライン施策に加え、オフラインのジャンル特化型イベントや海外のイベント等に出展することで、獲得するプロジェクトの数と質を向上させています。リピート実行者の活性化においては、プロジェクト終了後の振り返りを強化すると同時に、次の新商品開発へのヒントや戦略を提案することで、実行者との継続的な関係性を強化しています。これらの施策を通してアクティブプロジェクト件数の増加を目指しつつ、プロジェクトの応援購入金額最大化のために提供サービスの拡充及び標準化に注力し、プロジェクト当たりの単価向上を進めています。

当第3四半期累計期間においては、優良なプロジェクト実行者の獲得が順調に推移したことに加え、キュレーターのサポートを通じた単価向上支援体制がより強固になったことで、数億円規模の応援購入金額を達成する大型プロジェクトが数多く創出されました。また、更なる成長を狙うプロジェクト実行者による広告配信代行サービスの利用拡大が進みました。これに伴い、プロジェクト当たりの単価が大幅に向上し、Makuakeサービスを含む全サービスにおける取扱高は前年同四半期比31.1%増の17,014,305千円となりました。

その結果、当第3四半期累計期間の売上高は4,392,135千円（前年同四半期比31.1%増）、営業利益は844,428千円（同101.0%増）、経常利益は848,455千円（同100.2%増）、四半期純利益は683,781千円（同77.3%増）となりました。

なお、当社は応援購入サービス事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしていません。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期会計期間末の総資産は9,037,688千円となり、前事業年度末に比べ1,588,049千円の増加となりました。

流動資産は1,767,980千円増加し、8,357,873千円となりました。主たる要因は、プロジェクト預り用預金が853,393千円増加、現金及び預金が804,198千円増加したことによるものです。

固定資産は179,931千円減少し、679,814千円となりました。主たる要因は、無形固定資産が168,006千円減少したことによるものです。

(負債)

当第3四半期会計期間末の負債は2,937,396千円となり、前事業年度末に比べ904,267千円の増加となりました。

流動負債は887,179千円増加し、2,865,935千円となりました。主たる要因は、預り金が870,518千円増加したことによるものです。

固定負債は17,087千円増加し、71,461千円となりました。主たる要因は、勤続インセンティブ引当金が19,820千円増加したことによるものです。

(純資産)

当第3四半期会計期間末の純資産は6,100,291千円となり、前事業年度末に比べ683,781千円の増加となりました。主たる要因は、四半期純利益の計上に伴い利益剰余金が683,781千円増加したことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年9月期の業績予想について、2026年4月28日の「通期業績予想の修正に関するお知らせ」にて公表しました通期業績予想から変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2025年9月30日)	当第3四半期会計期間 (2026年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,656,141	5,460,340
プロジェクト預り用預金	1,313,565	2,166,959
売掛金	499,506	613,338
その他	128,045	124,601
貸倒引当金	△7,365	△7,365
流動資産合計	6,589,893	8,357,873
固定資産		
有形固定資産	13,432	12,170
無形固定資産	730,029	562,023
投資その他の資産		
その他	123,820	113,157
貸倒引当金	△7,537	△7,537
投資その他の資産合計	116,283	105,619
固定資産合計	859,745	679,814
資産合計	7,449,638	9,037,688
負債の部		
流動負債		
未払法人税等	69,510	98,391
預り金	1,310,554	2,181,073
その他	598,690	586,470
流動負債合計	1,978,755	2,865,935
固定負債		
退職給付引当金	3,029	297
勤続インセンティブ引当金	51,344	71,164
固定負債合計	54,374	71,461
負債合計	2,033,129	2,937,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,138,819	3,138,819
資本剰余金	1,832,375	1,832,375
利益剰余金	407,256	1,091,038
自己株式	△692	△692
株主資本合計	5,377,759	6,061,541
新株予約権	38,750	38,750
純資産合計	5,416,509	6,100,291
負債純資産合計	7,449,638	9,037,688

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
売上高	3,349,342	4,392,135
売上原価	820,067	1,185,555
売上総利益	2,529,274	3,206,580
販売費及び一般管理費	2,109,175	2,362,152
営業利益	420,099	844,428
営業外収益		
受取利息	8	9
受取配当金	28	20
助成金収入	1,000	3,300
その他	3,267	1,262
営業外収益合計	4,304	4,592
営業外費用		
支払利息	-	59
為替差損	481	505
その他	100	-
営業外費用合計	581	564
経常利益	423,823	848,455
特別利益		
投資有価証券売却益	8	-
新株予約権戻入益	9,765	-
特別利益合計	9,773	-
特別損失		
減損損失	4,149	50,790
特別損失合計	4,149	50,790
税引前四半期純利益	429,446	797,665
法人税、住民税及び事業税	47,101	106,820
法人税等調整額	△3,312	7,062
法人税等合計	43,789	113,883
四半期純利益	385,657	683,781

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、応援購入サービス事業の単一セグメントのため、記載を省略しています。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成していません。なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりです。

	前第3四半期累計期間 (自 2024年10月1日 至 2025年6月30日)	当第3四半期累計期間 (自 2025年10月1日 至 2026年6月30日)
減価償却費	129,326千円	154,525千円